

shikagaku

# 生物多様性モニタリング プロトコール集

1



鹿児島県生物教員等ネットワーク

2012 (平成 24) 年 3 月

表紙写真の説明

左上) クマゼミの抜け殻 (金井賢一撮影)

右上) ヤナギバルイライソウ (大屋 哲撮影)

左下) セイタカアワダチソウ (大屋 哲撮影)

右下) アシジロヒラフシアリ (中村京平撮影)

## みんなで参加・生物多様性調査

鹿児島県にある小中高校の生物多様性に関心を持つ教員と鹿児島大学教員とが交流する場「shikagaku」は、2011年2月19日に鹿児島県立博物館で開催された準備会（第1回セミナー）をもって発足しました。このセミナーでは、県内、とくに島嶼域における生物多様性の持続的モニタリングを立ち上げるための意見交換を行いました。その後、約1年間メールリンク「shikagaku」をつうじて情報交換を行ってきました。

2012年2月11日に鹿児島大学で開催された第2回セミナーでは、多くの人が気楽に参加できる多様性モニタリングのマニュアルづくりについて色々なアイデアが出され、次年度からモニタリングを開始することが提案されました。小さな努力で大きな成果を得ることが目標です。

このセミナーにおける発表の中から、プロトコールとして提示できるものを皆さんにお配りすることにしました。今回は5件（PR-1～PR-5）をとり上げましたが、今後、追加充実を図りたいと思いますので、皆さんの積極的なご提案をお待ちしております。この冊子体はセミナーに参加した方々を中心に配布しますが、web上でもダウンロードできるようにしますので、周りの方々に広めて下さい。

<http://shikagaku.synapse-blog.jp/top/>

5つの調査プロトコールをご覧になって、個人であるいは生徒さんと一緒に取り組んでみたいと思われたら、プロトコール提案者（それぞれに連絡先が書かれています）と連絡をとって、打合せをしてください。

このネットワークは、生物多様性に関心をもつ県内小中高の先生方と鹿大教員が交流と協力をつうじて生物多様性研究と保全に取り組むことを目標としていますが、生徒さんや一般市民の方々も自由に参加できる開かれた組織にしていきたいと思います。このテーマに関心のある方々は、気軽に事務局にお問い合わせください。

鹿児島大学理工学研究科・山根正気：sky@sci.kagoshima-u.ac.jp

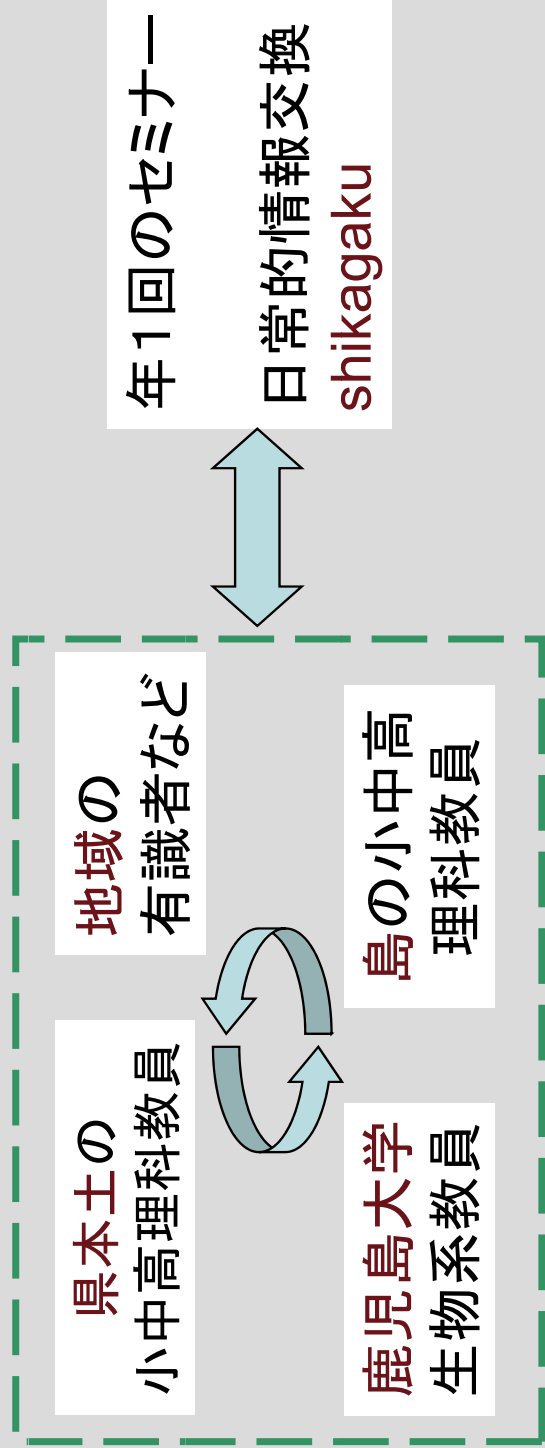
鹿児島県立博物館・金井賢一：viola-kk@po.synapse.ne.jp

# 鹿児島県生物教員等ネットワーク

(目標)

南北600kmからなる鹿児島県の、多様な生きものの実態を把握し、生徒や一般市民に紹介する組織として活動する。

(組織)



(活動目標) 地元の生きものを見つめることで、県下広範囲の情報収集  
気軽な努力で大きな成果

(活動概念)

**ターゲット種の選定**  
固有種・普通種・外来種

各学校で代々受け継ぐモニタリング

**ターゲット・サイトの選定**  
校庭：外来植物の発生消長など  
港：外来性アリの侵入監視  
自宅～学校の間の定点など

モニタリング・データの  
とりまとめ

→自分の取ったデータが論文になる喜び

生物教材の開拓

→地域ごとの独自性を活かせる

**生物多様性保全の基礎資料**

少ない努力で大きな成果  
生き生きとした生物学教育  
生物多様性保全に貢献

教員間の連帯・情報交換  
地域社会との連携

(異動しても気軽に観察を開始できる)

大学との関係継続・強化

ターゲット種やターゲット・サイトの  
アイディア募集中

参加教員 大募集中

(知り合いを紹介して下さい)